

東京から鹿児島を応援！ 「ファンづくり、ブランドづくりの基礎知識」

焼酎スタイリスト® YUKIKO



「ホテルニューオータニ女性イベント」

明けましておめでとうございます。焼酎スタイリスト YUKIKOです。

私は、現在、日本で唯一の「焼酎スタイリスト」として東京から各地の國酒情報を全国に向けて情報発信、販促活動を行っています。もともと企業や商品のブランド構築、販促支援専門のコンサルタントです。焼酎業界でも効果的にファンを生むサポートができたらと思います。「焼酎スタイリスト」として販促活動をしています。私が「焼酎スタイリスト」と

して蔵元とともに活動を始めた頃、ブランド構築・ファンづくりの目的から蔵元にひとつのお願いをしていました。私がプロデュースを務める原宿・表参道開催「かごしま芋焼酎コミュニティイベント」では、参加者から「この焼酎はどのような料理に合いますか？」と聞かれた際に「どの料理にも合います」「なんでも合います」と言わないでほしいと伝えていました。

焼酎は食中酒として料理と合わせやすいお酒です。一方で、当時蔵元に「この焼酎にはどのような料理が合いますか？」と聞くと頻りに返ってくる回答が「なんでも合います」だったのです。弊社は全国の中小企業を対象にブランディング、メディア販促支援を行っています。製菓業、小売業など担当する業界もさまざまです。弊社のクライアントも契約当初は同じよう

な発言をしていた方が多く、当時の焼酎業界も重なって見えました。生産者にとつて「なんでも合います」「お客様が好きなので楽しんでもらいたいから」という気持ちが入められている台詞。しかし、ブランドを築き上げていくには販促効果の低い「NGワード」なのです。それはなぜか。……皆さんも顧客の立場になって考えてみて下さい。例えば、御社商品のパッケージを決める際に、私に商品企画と販促のコンサルティングを依頼したとしましょう。「新商品のパッケージは、どういった色が合うと思いますか？」



■yukikoプロフィール
焼酎スタイリスト®、販促アドバイザー、色彩講師
色彩総合プロデュース「スタイル プロモーション」代表
中小企業庁委託事業「ミラサポ」派遣専門家(ブランド構築・販促支援専門)
ビジュアル戦略の企業コンサルタント、受講生は10,000名以上。幼少期から鹿児島文化に親しんで育つ。全国の「焼酎女子」を牽引する東京発ウェブマガジン「焼酎&泡盛スタイル」クリエイティブディレクター



「かごしま芋焼酎コミュニティナイト」

「なんでも合います」は親切に思える言葉ですが、先述のように相手が求める答えになっていません。さらに「なんでもいい」ということは「ほかでもない」ということ。自社や商品のファンになつてももらいたい皆さんにとつて、このような回答を続けていたら、あなたのファンは増えるのでしょうか。

現在、焼酎業界は「刺身に合います」などの回答を聞く機会が増えてきました。皆さんのなかで「どのようなシーンでも使えます」「どなたにも似合います」など漠然とした回答に心当たりのある方は、その台詞は卒業しましょう。あなたに質問をしてきた人は、あなたが手掛けた商品に興味があつて詳しく聞いてきているのです。ファンになるうとしている人たちが目の前にいるのです。

私も幼い頃から鹿児島県の食材や文化に触れて育つてきました。だからこそ、鹿児島の皆さんが手掛けた特産品が「ブランド」として多くのファンを生み、支持されるものであつてほしい。「焼酎スタイリスト」として「販促アドバイザー」として「鹿児島の特産品を東京から応援・販促支援できたら光栄に思います。」